

令和8年度 宮内小学校学校経営計画

1 学校経営理念

<ミッション> 「知・徳・体」のバランスの取れた児童の育成

<ビジョン> 全ての児童の力を最大限に伸ばす学校

◆校長を中心とした組織的・創造的な学校運営

◆児童と教職員がともに伸びる教育活動の展開

◆開かれた学校、保護者・地域に信頼される学校づくり

2 めざす学校像・児童像・教職員像

<めざす学校像> ・児童の夢と希望を育む学校

・ともに学び、育つ学校

・保護者や地域社会と連携・協働する学校

<めざす児童像> ・自ら学び合う子（向上心）

・よさを伸ばし合う子（協調性）

・ねばり強く努力する子（忍耐力）

<めざす教師像> ・率先垂範する教職員

・全ての児童と伴走する教職員

・よさを引き出しほめる教職員

2 学校教育目標

「自ら考え学び合い 心豊かに たくましく生きる 児童の育成」

3 身に付けさせたい資質・能力

向上心 協調性 忍耐力

4 令和8年度の重点的な取組

中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策
確かな学力	主体的・対話的で深い学びの実現	授業改善をすることで、自ら考え・学び・表現する力を育てる。
		特別支援教育の考え方を活かした個別最適な学びを推進する。
豊かな心	一人一人が認められ活躍する場の設定	縦割り班活動・つなプロなど児童同士のつながりを支援する活動を実施する。
		委員会活動や学級活動などで、児童発信の活動を企画し実施する。
健やかな体	運動にふれる機会の設定	遊びのすすめ、セットメニューを活用する。
		外遊びの定着を図る。
信頼される学校	「宮内の人・もの・こと」に触れる場の設定	総合的な学習の時間・生活科を中心に児童が地域と関わる場を設定する。
	応援される学校作り	学校から積極的な情報発信をする。

5 重点目標

(1) 主体的な学びの推進

- 特別支援教育の考え方をもとにした個別最適な学びと協働的な学びの一層の推進
- 指導者の適切な評価とそれを支える教材研究（目標設定）
- タブレットの積極的、効果的な活用の推進（デジタルシティズンシップ）

(2) 自己肯定感・自己有用感の向上

- 特別活動の充実
- つながり支援プロジェクトの日常化
- ポジティブ行動支援に基づいた指導者の支援

(3) 特別支援教育の推進

- 児童理解に基づく適切な支援（アセスメントの活用）
- ユニバーサルデザインの具体化（環境づくりから）
- 外部（廿特・南特の特支 C0）、市教委 C0 との積極的な連携

(4) 学校・家庭・地域の一体

- 積極的な情報発信（通信と HP の活用）
- 学校運営協議会・地域学校協働本部活動の活性化

(5) 働きがい改革の視点

- 勤務の平準化
- 対話による業務改善
- 勤務時間外が月 45 時間以内、年間 360 時間以内を意識した働き方